

山形県障がい者相談支援従事者研修 (現任研修)

インターバル実習の対応について

<実習協力事業所向け>

令和3年度山形県障がい者相談支援従事者研修
現任研修の流れ

1日目:11月10日(水)講義

2日目:11月25日(木)演習1日目～意思決定支援

3日目:11月26日(金)演習2日目～チームアプローチ

インターバル実習 ※今年度山形県では1回実施予定

4日目:12月17日(金)演習3日目～GSV・コミュニティワーク

現任研修 インターバル実習

<実習課題>

- ①事例報告書
- ②エコマップ
- ③地域変革のためのヒアリングシート
- ④ストレングス・アセスメント票
- ⑤サービス等利用計画案
- ⑥週間計画案
- ⑦地域アセスメントシート
- ⑧インターバル報告書

事前課題として取り組んだ

①～⑦について、

演習1・2日目を終えて

各自追記・修正したもの、

⑧は演習1・2日目に記入した
ものを使用

インターバル実習の流れ

※各受講者の実習課題①～⑦は、実習対応先に送付しますので、事前にご確認ください。

※⑧「インターバル報告書」については、当日受講者が実習対応者分1部を準備して訪問します。

<実習当日の流れ>

- 1 受講者が、自分の事例の概要について、5分でプレゼン(計画案の内容も含む)
- 2 受講者が、演習1・2日目を終え「意思決定支援」「チームアプローチ支援」にかかる個別事例への気づきや、地域課題として考えたことについて「インターバル報告書」をもとに5分でプレゼン
- 3 実習対応者は、実習生のプレゼンに対して、ポイントとして挙げた3つの点(次のスライド参照)等について助言し、サービス等利用計画案の修正が必要な場合は助言する。
助言終了後「インターバル報告書」の所定の欄に署名捺印する。

※所要時間:一人30～40分程度。

※実習のねらい:「地域の基幹相談支援センター等を活用する」

インターバル実習のチェックポイント

- 1 事例に対して取り組む内容に、本人の想いが反映されているか、本人が一緒に取り組んでいこうとする内容になっているか
- 2 より多くの関わりと役割分担がしっかりなされているか
- 3 地域課題への取組など、前向きな発想になっているか
(面白いアイデア、柔軟な発想になっているか)

※受講者の気付きに対する助言をお願いいたします。

上段 インターバル報告書		演習 1日目・2日目共通
1. 個別相談支援／意思決定支援について【①②：演習1日目振り返りで記入】		
① 演習1の事例検討を受けての提案事項・自身の気づき		
② 今後、取り組む内容（優先順位等明確にする） 1 2 3		
③ インターバル実習をうけての気づき		
④ 実際取り組んだこと、本人に提案してみた結果		

実習課題①事例報告書の中で「検討したいこと(相談支援専門員が支援の中で困っていること)」に記載した課題について演習1日目にグループで検討

演習1日目振り返りとして、受講者各自が記入したものをもとに、実習でプレゼン

③は、インターバル実習後に記入

④は、研修4日目までに本人に会って、その結果を記入
※実習時点で未記入の場合は、これから研修までの間に必ず本人に会って記入するよう声掛けお願いします。

下段					
2. チームアプローチ（多職種連携）について【①②：演習2日目振り返りで記入】					
① 演習2の検討を受けての気づき					
② チームアプローチ・地域課題の解決に向けた取り組みの提案					
③ インターバル実習を終えての気づき・実践していきたい事					
インターバル実習	月日		対応者氏名		㊞

実習課題②「エコマップ」で「チームアプローチの展開で困っていること」に記載した課題について演習2日目にグループで検討

演習2日目の振り返りとして、受講者各自が記入したものと、実習でプレゼン。

③は、インターバル実習後に記入

実習対応後に、署名捺印をお願いします。

(参考) インターバル実習の流れ

※受講者に伝えている内容

<実習後の流れ>

- 1 実習先から受けた助言やインターバル期間中の気づきを実習課題⑧「インターバル報告書」の項目1, 2の③部分に各自記入する。

※「インターバル報告書」項目1の④部分も、研修4日目まで
(インターバル実習前又は後)に本人に会って提案した結果について記入すること。